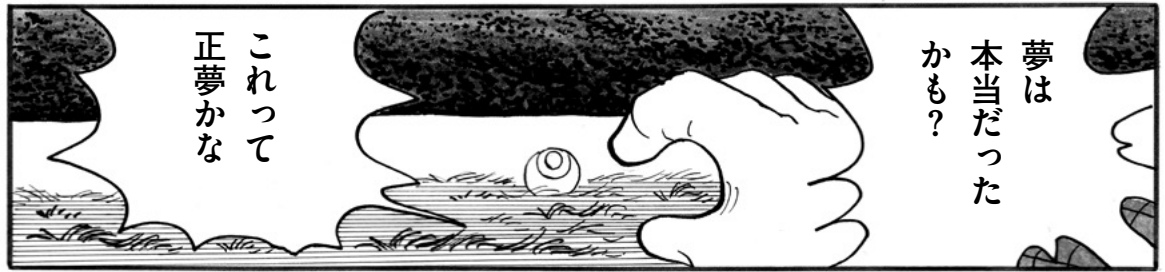
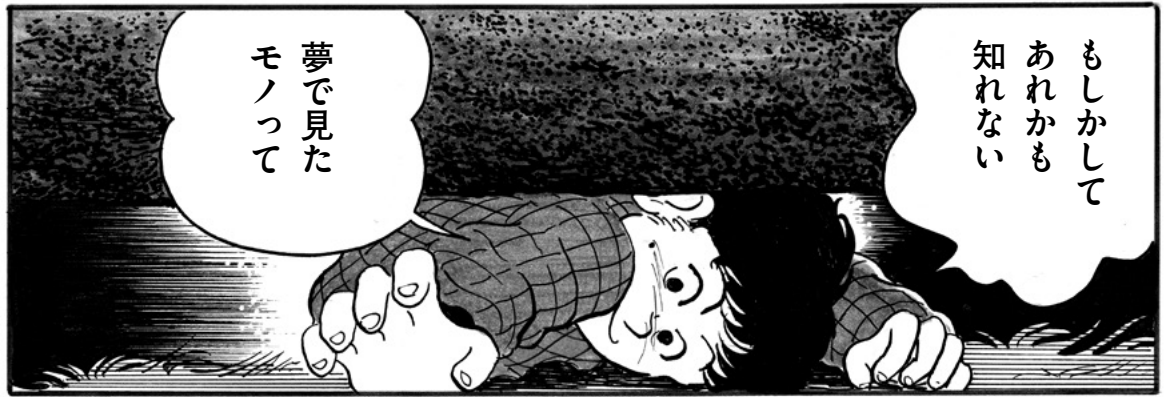


## ★ 操 作 方 法 ★

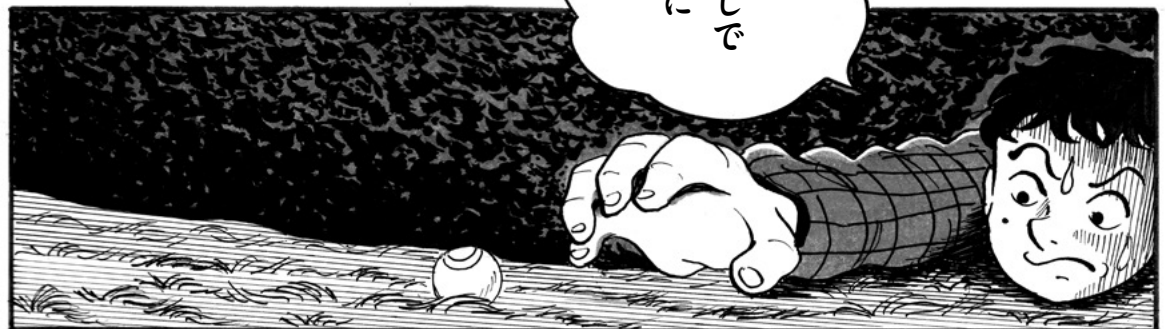
マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

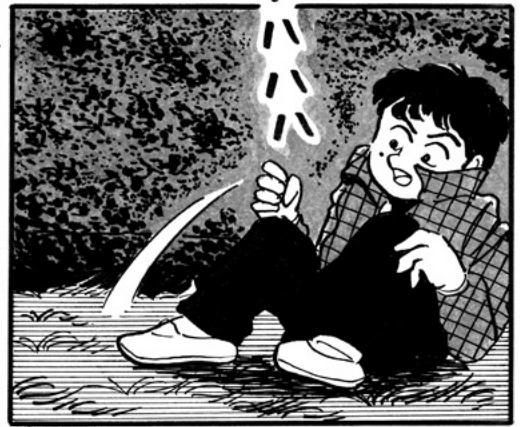
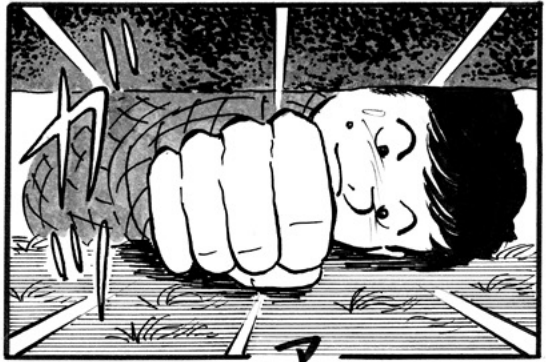
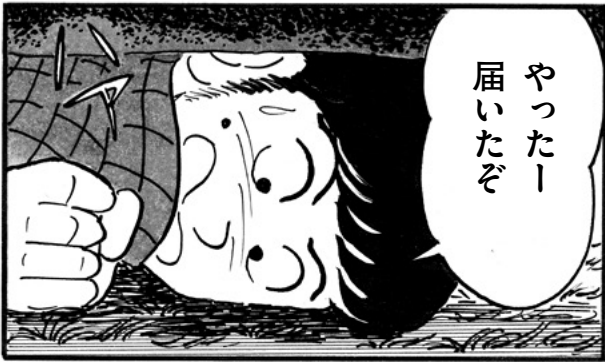
※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。



# ゴッドアイ







突然まわりが  
真っ暗になった



そこは先程の  
森林公園とは  
違っていた

夢でも見て  
いるのではないのに  
なぜだか分から  
ない

なんだここは  
ローマの  
博物館か？



今にも  
動きそうな  
迫力だった

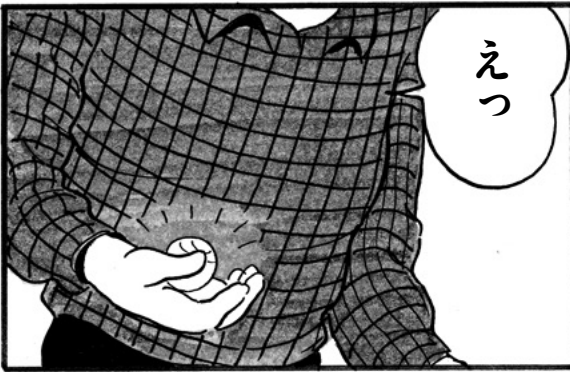


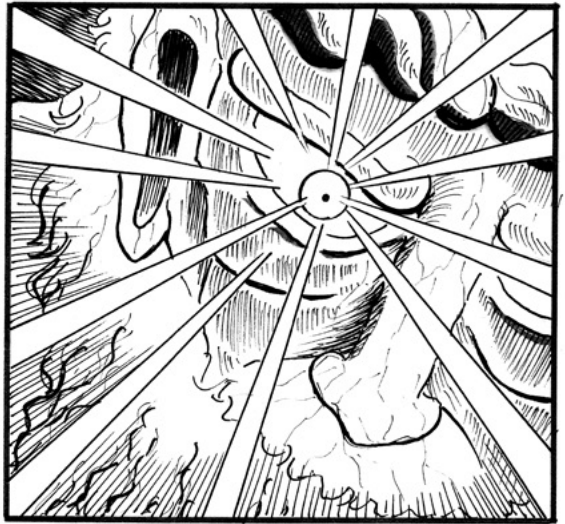
動いた!!

でもそんなには  
驚かなかつた  
なぜだか分から  
ないけどー













私が夢の中に  
送り続けた  
メッセージが  
ようやくキミに  
届いたようだな

はあ？




私の目が戻った  
これで神の王として  
人間を見守る  
ことが出来る

さてキミを  
元の世界へ  
戻さないと  
ならぬな


たすけてー





また突然  
真暗な空間を  
どこまでも落下  
して行ったー

どのくらい  
気を失って  
いたのだ  
ろうか



気がつく  
と何か胸に  
当たっていた

いっ

それは大きな  
石膏の手  
だったので

えっこれって  
もしかして  
.....

END